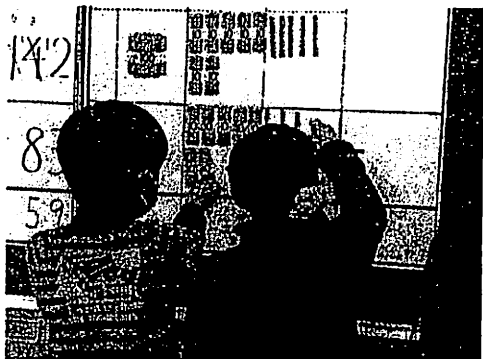


平成22年度
**第1回自由ヶ丘中学校区
 小中一貫教育合同研修会**



期 日 平成22年 6月8日(火)
 場 所 宗像市立自由ヶ丘南小学校

日 程

- 日 時 平成22年6月8日(火) 受付：14:00～14:10
- 会 場 自由ヶ丘南小学校 (駐車場：運動場)
- 内 容
 - ① 授業公開 [14:10～14:55]
 - 1年、2年、3年、4年、5年、6年、特支学級 . . .【各教室】
 - 教科：算教科

視点：学習規律と指導方法「めあて」、「まとめ」、交流のある授業
 - ② 分科会 [15:10～16:00]

- ・ 授業者自評 15:10～15:20
 - ・ 協 議 15:20～15:50
 - ・ 指導助言 15:50～16:00

 - 低学年部会 [1、2学年]【2F：5年活動ルーム】
 ・ 自 小 指導助言：坂田紳一校長 ・ 司会：花田寿人教頭 ・ 記録：高木陽一郎
 - 中学年部会 [3、4学年]【2F：4年活動ルーム】
 ・ 自南小 指導助言：阿部龍彦指導主事 ・ 司会：鎌田陸徳教頭 ・ 記録：中村賢治
 - 高学年部会 [5、6学年]【2F：児童会室】
 ・ 自 中 指導助言：田中雅子校長 ・ 司会：芦刈周平教頭 ・ 記録：西島 深
 - ③ 三部会交流会 [16:10～16:50]

○ 各部会交流(取り組みの確認、進捗状況等)

 - 授業づくり部会【2F：5年活動ルーム】
 ・ 司会進行：自南小 瀧岡健次 ・ 記録：自中 上富志保美
 - 仲間づくり部会【2F：4年活動ルーム】
 ・ 司会進行：自小 菅 正範 ・ 記録：自南小 内田由美子
 - 地域連携づくり部会【2F：児童会室】
 ・ 司会進行：自中 小倉博文 ・ 記録：自南小 大倉将太郎

2010年度

宗像市人権・同和教育研究協議会

第1回 玄海中学校ブロック交流会

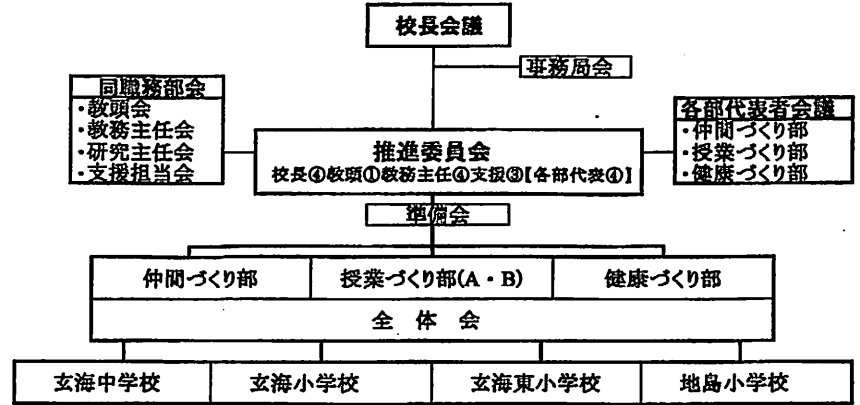
H22年6月1日 (火)

13:55~受付
於 玄海中学校

日程

- 1 公開授業 (14:15~15:05) 各教室
移動・休息 クリエイトルームへ
- 2 全体会 (15:20~15:30)
 - (1) 会長挨拶
 - (2) 昨年度の総括と今年度の方針
 - (3) 連絡事項
 移動
- 3 学年ごとの協議会 (15:35~16:10)
学習規律、教科の内容
移動
- 4 部会 (16:15~)
 - (1) 授業を通しての交流
 - (2) 部会のテーマ決めと方策についての協議
 各部会毎解散

目標達成のための推進組織



6. 目標達成に向け各部会が機能するために (任務内容の明確化)

事務局	校長代表の所属する学校を事務局校とする。 なお構成員は、事務局校の校長、教頭、教務主任及び支援担当の代表をもって充てる。 ○諸会議の企画、運営等
-----	--

推進委員会	校長(4) 教頭(1) 教務主任(4) 支援加配(3) 各部代表者(4)(仲間づくり部①授業づくり②健康づくり③)【必要に応じて】 方針を決議したり、具体的な取り組み等を推進する。
-------	--

同僚務会議	○小中連携一貫教育推進の統括 ○各部への指導助言
校長会	○各部会等の連絡調整及び指導助言 ○各校の児童生徒の学習・生活等の実態分析
教務主任会	○小中連携・小中連携教育カリキュラム(教育課程)の編成・実施・評価 ○家庭・地域との連携 ○各校の児童生徒の学習・生活等の実態分析
研究主任会	○授業づくり部の推進 ○小中連携の授業づくり ○公開授業の計画
支援担当者会	○各部への連絡調整 ○各校の学習・進路・生徒指導のコーディネーター的役割 ○各校の児童生徒の学習・生活等の実態分析

各部・代表者会議	
授業づくり部	○四校の研究主任で構成 ○四校の主題研究の融合性を図る。 ○ブロックがめざす授業像(子ども像)を全体に提示し、日々の実践に生かせるように自校の研究主題解明目の取り組みとの関連を図る。 ○昨年のプラン(実践項目)の見直し(実態に沿った実践項目の提示) ○ブロック交流会(授業研究会)を計画する。
仲間づくり部	○四校の人権同和教育担当者で構成する ○ブロックがめざす仲間づくり部の子ども像を全体に提示し、日々の実践に生かせるよう共通の取り組みやその手だてを明確にする。 ○昨年のプラン(実践項目)の見直し(実態に沿った実践項目の提示)
健康づくり部	○四校の保健体育の担当者で構成 ○ブロックがめざす健康づくり部の子ども像を全体に提示し、日々の実践に生かせるよう共通の取り組みやその手だてを明確にする。 ○昨年のプラン(実践項目)の見直し(実態に沿った実践項目の提示)

- 小中連携・小中連携(一貫)を見通した移行期における教育課程の編成・実施・評価(教科・学習内容・学校行事・地域連携等).....教務主任
- 各部の年間の具体的な目標設定、手だて評価等.....研究主任・人権担当・保健体育担当

平成22年度 宗像市小中一貫教育推進校・調査研究校スケジュール

月	日	曜	宗像市教育委員会	大島中校区(推進校)	日の里中校区(推進校)	中央中校区(調査研究校)	河東中校区(調査研究校)	自由ヶ丘中校区(調査研究校)
6	1	火		六者会議				
6	2	水				中央中校区生徒指導研修会		自中校区生徒指導研修会
6	3	木				校区生徒指導研修会①		
6	4	金	コミュニティ会長会議					
6	5	土						
6	6	日						
6	7	月				推進会議(中央中)		
6	8	火		六者会議		東郷小校内研		小中一貫教育合同研修会①
6	9	水		大島中校区教務主任研修会	日の里中校区教務主任研修会	中央中校区教務主任研修会		
6	10	木	学校の日					
6	11	金						
6	12	土		文化祭				
6	13	日						
6	14	月		代休(小中)				
6	15	火		六者会議	三校校務会議16:30西小			
6	16	水					河東中校区教務主任研修会	自中校区教務主任研修会
6	17	木	校長研②(赤間西小)					
6	18	金	福岡県学力実態調査					
6	19	土						
6	20	日						
6	21	月				推進会議(中央中)		
6	22	火		六者会議				
6	23	水						
6	24	木						
6	25	金						
6	26	土						
6	27	日						
6	28	月						
6	29	火		六者会議		中央中ブロック交流会①		
6	30	水						

施設分離型小中一貫教育の課題を探る

全国には、「不登校」「学力向上」「少子化」「問題行動」など、それぞれの地域や学校が抱える課題を克服するため、文部科学省の「研究開発学校」や「教育課程特例校」（旧構造改革特別区域法：小中一貫教育特区）の指定、あるいは独自の取組みにより、小中一貫教育の実践・研究を進める学校・自治体が多くあります。そして、その多くが、施設分離型の小中一貫教育に取り組んでいます。

しかし、「施設の物理的な制約」や「教員や児童・生徒の移動時間の課題」、「免許制度の課題」等、施設一体型に比べ、なかなか進まない、成果が出にくいという声もあります。これまでの『小中一貫教育全国サミット』も、さまざまな学校・自治体の小中一貫教育の実践を報告し、互いの成果や課題の共有を目的として開催してきましたが、今回は特に『施設分離型小中一貫教育』にスポットをあてて開催することといたしました。

施設分離型小中一貫教育を実践する学校・自治体が試行錯誤の中でどのように課題に立ち向かい、それをどのように克服し成果をあげてきたかなど、具体的な姿が明らかになればと考えております。現在、実践の中で課題と格闘している学校・自治体や、これから小中一貫教育に取り組む学校・自治体と今まで以上に情報や成果を共有し、その意義や価値、具体的な対応策を確認し合えることを願っております。

また、小中一貫教育を柱とする「新しい義務教育の創造に向けた具体的な提言」を行い、義務教育学校設置に向けた法改正についても共同宣言で求めていきます。

日時

平成22年7月30日(金) 9:30~17:00 ※受付開始・開場：9:00~

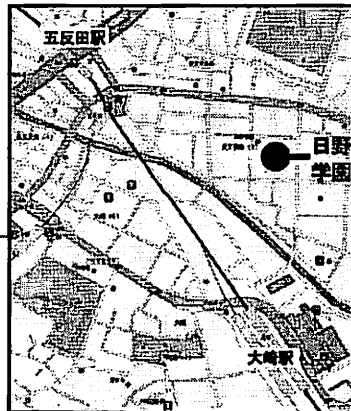
会場

品川区立小中一貫校 日野学園

品川区東五反田2-11-1 tel. 03-3441-3209

※大崎駅 徒歩5分 JR山手線・りんかい線(北改札東口)

※五反田駅 徒歩8分 JR山手線(東口)・東急池上線・都営地下鉄浅草線(A3出口)



主催

小中一貫教育全国連絡協議会

正会員：23教育委員会

賛助会員：4個人/16団体

内容

9:00 受付・会場

9:30 開会

◇開催地代表あいさつ
◇来賓代表あいさつ

10:00 義務教育学校法制化 要請行動

◇文部科学省に「義務教育学校」の早期法制化を求めます。

シンポジウム(第一部)

10:30 『施設分離型小中一貫教育の課題を探る』

※シンポジストの実践からの課題や成果等について討論します。

シンポジスト

浅田和伸 [東京都] 品川区立大崎中学校長
川上智 [東京都] 武蔵村山市教育委員会 教育政策担当部長
清水康一 [京都府] 京都市教育委員会 指導部 学校指導課担当課長
寺本有伸 [広島県] 呉市教育委員会 学校教育課長
田中雅子 [福岡県] 宗像市立自由ヶ丘中学校長

コメンテーター

天笠茂 千葉大学教授
木岡一明 名城大学大学院教授

コーディネーター

小松郁夫 玉川大学教職大学院教授

12:00

休憩・昼食

13:00 シンポジウム(第二部)

『施設分離型小中一貫教育の課題を探る』

※会場(参加者)から出された施設分離型小中一貫教育の課題等について討論します。

※シンポジスト、コメンテーターおよびコーディネーターは、第一部と同様です。

14:30

14:40 共同宣言

【参考】小中一貫教育全国サミット2009 in 宗像 共同宣言

【宣言1】

教育における地方分権をさらに拡充し、義務教育学校の設置や小中一貫教育の推進など、地方における多様な取組みを一層充実させるために、法整備の早急な具体化を求めます。

【宣言2】

子どもたちに確かな学力を豊かな人間性や社会性を身に付けるため、保護者・地域との連携・交流を深め、実践結果を検証しながら、小中一貫教育のさらなる充実と進展を目指します。

14:55

休憩・移動

15:15 分科会

※小中一貫教育を推進するうえで、さまざまな工夫が必要となる学校経営や教育課程、施設等について分科会ごとに実践報告を行い、会場（参加者）とともに協議します。

◇分科会A『施設分離型 組織運営』

発表Ⅰ [新潟県] 三条市立第三中学校
発表Ⅱ [東京都] 品川区立第二延山小学校
発表Ⅲ [佐賀県] 佐賀市立小中一貫校体育館
助言者 田中 統治 筑波大学教授

◇分科会B『施設分離型 学力向上』

発表Ⅰ [北海道] 三笠市立菅野中学校
発表Ⅱ [福岡県] 宗像市立南郷小学校
発表Ⅲ [島根県] 松江市立八束小学校・中学校
助言者 田部井 洋文 前佐賀市教育長

◇分科会C『施設分離型 生活指導』

発表Ⅰ [広島県] 呉市立両城中学校
発表Ⅱ [島根県] 松江市立大谷小学校
助言者 篠田 信司 前国立音楽大学教授

◇分科会D『独自教科 心の教育』

発表Ⅰ [神奈川県] 南足柄市立岡本小学校
発表Ⅱ [東京都] 品川区立小中一貫校日野学園
助言者 高階 玲治 教育創造研究センター所長

◇分科会E『学校施設』

発表Ⅰ [東京都] 品川区教育委員会
発表Ⅱ [奈良県] 奈良市教育委員会
助言者 上野 淳 首都大学東京教授

◇分科会F『施設一体型 小中一貫教育』

発表Ⅰ [東京都] 武蔵村山市立小中一貫校村山学園
発表Ⅱ [兵庫県] 姫路市立白鷺小学校・白鷺中学校
発表Ⅲ [宮城県] 登米市立豊里小・中学校
助言者 樋口 直宏 筑波大学准教授

※分科会終了後、開会となります。

17:00

全国の小中一貫教育に取り組む
学校・自治体の実践をパネルにて紹介します。

定員

1,800名 (先着順) ※定員になりしだい、締め切らせていただきます。
※なお、定員に満たない場合のみ、当日受付を設けさせていただきます。

参加費

2,500円 (資料代込み)

申込方法

別紙「小中一貫教育全国サミット2010申込書」に必要事項をご記入のうえ、取扱代理店「株式会社タビックスジャパン 八重洲支店」まで、ファクシミリで送付してください。

「小中一貫教育全国サミット2010申込書」では、「参加申込み」のほか、「弁当（昼食）」および「宿泊」の申込みが可能です。

詳しくは、「小中一貫教育全国サミット2010申込書」をご覧ください。

※「小中一貫教育全国サミット2010申込書」は、ホームページ（表紙にアドレス掲載）からもダウンロードできます。

【取扱代理店】

株式会社タビックスジャパン 八重洲支店 tel.03-3275-3200 fax.03-3275-0880

問い合わせ

【小中一貫教育全国サミット2010・小中一貫教育全国連絡協議会の内容等】

小中一貫教育全国サミット2010事務局／小中一貫教育全国連絡協議会事務局
品川区教育委員会事務局 指導課 小中一貫教育係
tel.03-5742-6595 fax.03-5742-6892
e-mail shochu@city.shinagawa.tokyo.jp

【小中一貫教育全国サミット2010の申込み・宿泊等】

株式会社タビックスジャパン 八重洲支店 全国サミット担当 責任者：山口
tel.03-3275-3200 fax.03-3275-0880

小中一貫教育全国連絡協議会

正会員：23教育委員会

三笠市 [北海道]
登米市 [宮城県]
品川区 [東京都]
武蔵村山市 [東京都]
白川村 [岐阜県]
寝屋川市 [大阪府]
松江市 [島根県]
日向市 [宮崎県]

むつ市 [青森県]
宇都宮市 [栃木県]
渋谷区 [東京都]
南足柄市 [神奈川県]
京都市 [京都府]
柏原市 [大阪府]
呉市 [広島県]
薩摩川内市 [鹿児島県]

東通村 [青森県]
八潮市 [埼玉県]
三鷹市 [東京都]
三条市 [新潟県]
堺市 [大阪府]
奈良市 [奈良県]
宗像市 [福岡県]

賛助会員：4個人／16団体